

科研基盤研究 (C) 中世仏教美術における靈性の発生と継承に関する基礎的研究 (代表者・山本聡美)

科研基盤研究 (C) 絹本着色絵画の技法史的展開に関する研究 (代表者・京都絵美)

科研基盤研究 (C) 日本絵画の復元研究における復元根拠の再検討 (代表者・鷹野佳世子)

＜絵画の再生—改装・復元・復元根拠＞

- ◆ 日時：2019年12月26日(木)
10:30～16:30 (開場10:15)
- ◆ 会場：早稲田大学戸山キャンパス
36号館3階 AV教室2 (382教室)

開会 (10:30)

①復元思想と絵画の「写し」(10:40～)

東京藝術大学 非常勤講師 京都絵美

②御後絵の復元 —絵画復元と写真資料— (11:00～)

日本学術振興会 特別研究員 鷹野佳世子

東京藝術大学 非常勤講師 久下有貴

東京大学史料編纂所 技術専門職員 谷昭佳

(12:15頃～ 昼休み・「月次祭礼図模本」原本図像の復元模写展示)

③佐竹本三十六歌仙絵の諸問題 —画風・復元・伝来— (14:00～)

京都国立博物館 研究員 井並林太郎

④月次祭礼図の復元について (15:00～)

愛知県立芸術大学 准教授 阪野智啓

東京大学 准教授 高岸輝

閉会 (16:30頃)



＜協力＞愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所／東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター「本所所蔵台紙写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト」(代表者・久留島典子)／一般財団法人沖縄美ら島財団